

# 天文同好會

## 七年度總會記事

十月十五日午後四時から豫定の通り名古屋市瓦町三丁目の青年會館階上で開催した。

先づ、支部幹事太田桂次郎氏に座長を御願して、下記の事項を決定した。

**會名改正の件** 之は相當以前から評議員等の間に案が練られて居つた事であり、一般の情勢が之に傾いて居つた場合でもあつたので、異議無く可決せられ、之に關係して會則が二三改正せられた。尙、此改名と同時に會の立場を學界の内外に向つて宣言すべき必要ありとの希望が付せられた。

**支部規約制定の件** 支部の概念を明にし、且其組織等をも大體定めたいのであつたが、その爲には現在の支部幹事、評議員等の意見を聴くのが先決問題であるので、此件は今回の總會まで懸案とする事にした。

**名譽會員推薦の件** 多年本會の爲に御盡力下さつた、東京天文臺長早乙女清房京都大學の上田穰兩博士を名譽會員に推薦した。

**會計報告の件** 池田會計監督から本年九月末現在の會計状態の大要及本年度末及來年度に於ける豫想の報告があり、之を承認した。

**役員選舉の件** 會長に山本一清、副會長に水野千里、會計監督に池田政清何れも重任と決定した。次いで山本會長は幹事として、竹田新一郎、稻葉通義兩氏を指名した。

**來年度の總會** 東京で開くことに決定。

後、懇親晚餐會を開いて歡談し、七時散會した。

尙ほ、かねて報知した通り、此の機會を以つて、十月十四日から三日間にわたり、同所に於いて本會主催の天文學講習會を開き、〔山本會長の「現代の新天文學」なる題の下に、前後六時間にわたる講義が行はれた。聽講者は遠近より約四十名集まり、なかなか緊張した會であつた。又、十六日の夜は、「宇宙を探る」といふ題で、山本博士の通俗講演會が開かれ、集まるもの約二百。夥しい幻燈畫により天界の珍象を紹介された。

## 東京支部より

十一月六日山本會長の御上京を迎へ五藤幹事宅に會員懇談會を開く。昨年十一月の懇談會より滿一ケ年に當り意義深き會合であつた。折から秋雨そぼ降る中を來會者二十四名に及び、中に下關支部長廣津藤吉氏の御滯京中を利用して出席せられたるは異彩であつた。

先づ山本會長より會名變更及過日の名古屋總會に於て來る1933年中に東京に於て總會開會の決議ありたる趣の御報告あり、更に最近天界のニュースとして獅子座流星雨の警報と東京科學博物館に開會中の江戸時代科學展に因み、我等の先覺紀正民、國友藤兵衛兩氏の天文業績に關し有益なる御講話を拜聽し、續いて中村要氏急逝に關し氏の家庭生活や學界に残されし偉業に就き極めて情味深き御話あり、列席者一同今更乍ら此一代の天才の逝去に滿腔の哀悼の意を表した。次で五藤幹事の發議に依り中村氏記念號への寄附を各自申出た結果即座に四拾四圓を據出した。次で會員各自研究事項の發表あり、來る1936年の北海道に於ける日食には東京支部に於て觀測隊を組織し派遣し度し等の遠大なる希望等も出で、歡談裡に深更十一時を過ぎて散會した。以上

### 編輯後記

若くして逝つた中村氏の記念號として、創刊以來の大特輯をやつたが、全國の讀者たちから、寄稿やら寄附金の申込みやらの約束が續々來たので、本說の原稿メ切は、十一月五日よりもウンと延ばして、待てるだけ待つた。其のため、例月の發行日に發行が出来なかつたのは残念であるが、御許し願ひたい。御覽の通り、之れでも未だ當然寄稿して頂ける方々の原稿が間に合はず、止むなく其れ等は次號にまはすことゝした。又、なるべく各地の會員たちの文を優先的に採り入れたがため、花山や京大の、永く中村氏と親交あつた人々のものを多くはあとにまはすことゝした件も御了承願ひたい。又、中村氏の永年にわたる研究の内容も、此の記念號には當然載せたいのであるが、今直ぐには餘裕が無いので、之れも後日にゆづつた。

故中村氏の自筆原稿等、記念のため御希望の方は申出でられたい。(X)

## 倉 敷 通 信

倉敷天文臺 荒木健兒

毎年夏期の天文學講習會が今年で第三回を重ねましたが、更に下記の如く冬期講習會を計劃しました。

日 時	1933年一月4日(水曜)、5日(木曜祭日)の二日間 午前九時より正午まで、及び午後一時より三時まで。
場 所	倉敷大原農業研究所講堂(變動の時は急報する)
講 師	第六高等學校教授 理學士 宮原節先生
題 目	「天文學研究の基礎になる物理學」
會 費	金貳圓也(但し東亞天文協會員は金壹圓也)
申 込	十二月20日まで、會費前納。 大體豫定人員に達した時は申込を受附けないこともありますから、なるべく早く御申込のこと。會費添付のない申込は無効。整理上困難のため納附會費は返さず。

講師宮原先生は私の恩師でありまして、最も要領よく講義されるので有名であります。運筆の早い諸君は速記されることを熱望いたします。題目の内容を充分承つてゐませんが、力學と光學とを取扱はれることと思ひます。程度は中等學校上級といふよりも、寧ろ高等學校程度ともいふべき實のあるものであります。先生も非常に意氣込んで居られますので、その結果は期して待つべきものがありませう。奮つて御申込下さい。

主として會員のための講習會とし、餘席があれば一般から求めるつもりであります。どこまでも徹底した理論を學ぼうとするのであつて、觀望には重きをおきません。

× × ×

折角御來訪下さいまして、私不在の場合は相すまないわけではありますが、一應大原農業研究所の小川(Ogawa)氏に御たづね下されば、わかることがあります。去る10月22日、兵庫縣の會員内海誠之氏に會へなかつたのは残念です。

## 會員に關する報告

## 〔入 會〕

富本保雄	大阪市西區阿波座下通一ノ三九 (觀測部員)
上野謙一	茨城縣水戸市下市竹隈町
羽柴鋼太郎	名古屋市東區東魚町二ノ一三
乾久期	神戸市中山手通七丁目二五二(大阪高等學科 寄宿寮内)
南真吉	神戸市湊東區楠町四ノ二〇四
山田如義	名古屋市東區黒門町四八
勝修三	東京市芝區三田四國町二番地一號 (觀測部員)
吉井耕一	廣島繁賀茂郡竹原町 (觀測部員)

## 〔轉 居〕

宮本正太郎	(姫路市)	姫路市外新在家 池内菊雄方
村山辨次	(兵庫縣)	尼ヶ崎市立商工學校
高崎榮作	(元山口)	富山市千石町279
金森壬午	(長野縣)	諏訪郡上諏訪町高島小學校
日野要	(元長崎)	愛媛縣宇摩郡關川村尋常高等小學校
高木逸平	(元京都)	門司市祝町二丁目 帝國殖産株式會社
村上美嗣	(元京都)	京都府綾部町北西町31
原田東岷		東京市麻布區我善坊町五〇 佐土方
藤井陽之助		福岡縣田川郡揉銅所村
中井正		京都市東山區山科御陵中町一〇 茶谷由之助方
岡部武夫		横濱市中區本牧町下里三〇五三
山崎幸夫		大阪市住吉區住吉町一〇四二
若月彌八		群馬縣高崎市矢嶋町 宇佐美染工場内

## 〔地名改稱〕

寺村榮一	東京市目黒區中目黒三ノ九四六
大場春江	東京市杉並區永福町四一ニ
山本玉樹	東京市世田ヶ谷區松原町二ノ七一九
原田參太郎	東京市品川區上大崎町五一七
大角留吉	東京市澁谷區代々木富ヶ谷町一三八六
進藤四朗	東京市澁谷區代々木本町八一七

注意——轉居御通知の場合は必ず舊住所を簡單に御記入下さい。尙東京市内居住者に  
して、東京市擴張に依る改稱の場合は一應御通知下さい。